

個別課題発生時における意思決定支援のためのアセスメントシート

【作成日】令和元年6月17日

本人	岡山一郎	アセスメント実施者	玉野士郎(後見人)
実施日	令和元年6月17日 午前11時～12時 (第1回) 場所(本人自宅)		
ミーティング参加者 参加がある場合は□にチェックして()に立場・姓名等を記入してください	<p>■本人 ■親族(長男岡山太郎)</p> <p>■ケアマネージャー(津山花子) ■ヘルパー責任者(美作雅夫) □その他福祉関係者()</p> <p>□行政担当者() □その他行政関係者()</p> <p>□地域包括支援センター() □障がい者相談支援センター()</p> <p>□医師() ■看護師(総社愛子)</p> <p>□医療ソーシャルワーカー() □その他医療関係者()</p> <p>■民生委員(倉敷夢子) □その他地域関係者()</p>		
検討した課題は何ですか(居所の選定・親族への経済的支援・重要な財産の処分等)	(居所の選定)下記のとおり事情により、ミーティングを開催し、本人の生活の場をどうするか、意思決定支援を行うこととした。		
いつ、どこで、誰が問題提起して、本日に至ったのですか	4月1日に自宅トイレへの移動時に転倒事故が起き、H病院に入院して、5月10日に退院した。その後、以前より転倒リスクが高まった。寂しくなると、夜間も含めて毎日10回以上、近隣住民・親族・後見人などに電話をかけるようになった。仕事が多忙な長男が、本人の在宅生活はもう無理なのではないかと後見人に相談した。		
検討課題に関する本人の考えはもともとはどうでしたか	まだまだ一人でもやっていける。病院は酒が飲めないのが嫌だった。一方、前回の入院後は、体が思うように動かず、不安はある。心細い時に誰かがいてくれるという安心が得られるなら、施設も良いかもしれない。		
意思を形成する支援	検討課題についてどのような選択肢がありますか		
	<p>①介護サービスを増やして、在宅を続ける。</p> <p>②施設に入所する。</p> <p>③長男宅に転居して長男一家と同居する。</p>		
本人が意思を表明する支援	検討課題についてどのようにわかりやすく情報を提供しましたか		
	①介護サービスの種類・内容・費用等をケアマネージャーに丁寧に説明してもらった。②年金収入で入所可能な施設のパンフレットを本人に見せた。③長男が、部屋の間取りや孫が受験を控えていることで、本人との同居が難しいことを説明した。後見人から、経済的には①でも②でも可能であることを説明した。		
本人が意思を表明する支援	本人が表明した意思(言葉・感情・態度等)をそのまま記入してください		
	①体が思うように動かなくなり、不安だし、イライラする。 ②ヘルパーから生活の細々したことを指摘されるのがストレスだ。今のヘルパーは交代してほしい。 ③不満や聞いてほしいことがあるから、電話もしてしまうが、やはり家で暮らしたい。		
	本人の真意をどのように検討しましたか(表明された意思と真意が異なっていませんか)		
	①民生委員から、本人は、家で最期を迎えたいと普段から話していることが報告され、本人もその想いを強調した。②後見人も、本人から、家は亡妻との思い出が詰まっており、苦勞して建てたことを聞いている。③長男から、家族としては、一人暮らしのリスクを考えれば施設に入所の方が安心であるが、それでも家での生活を望むのか確認したところ、本人は、「転倒の危険性があることはわかっているが、家で暮らしたい。」と発言した。		
チームの方針	本人が表明した意思内容が本人又は第三者の生命、身体その他重大な権利を侵害していませんか、若しくは、経済的な事情等により客観的に著しく実現困難な選択肢を本人が希望し続けていませんか⇒当てはまる場合は、[別紙2]へ移行してください		
	①看護師によると、主治医も、在宅生活はサービスが整えば十分可能だとの意見である。ただ、自宅での入浴はリスクが高いので、別の方法を検討する必要があると説明した。②それぞれの立場で、電話による迷惑は、受信者側で調整可能であるとの意見で一致した。③介護サービスを増やすことは本人の収入から問題はない。		
ガイドラインに即して対応したかどうかを チームで確認して、OKであれば、□にチェックしてください	<p>■本人以外の関係者の問題を本人の問題にすり替えていないことを確認した</p> <p>■本人の表面的な言葉を安易に本人の意思と捉えていないか、本人の自己責任としていないかを確認した</p> <p>■支援のしやすさを優先して、支援者のための根拠付けになっていないことを確認した</p> <p>■結論を先に周囲が決めてしまい、後付けの根拠資料として使っていないことを確認した</p>		
チームの方針	検討課題についてどのような方針に決まりましたか(代行決定となった場合も支援方針を記載してください)		
	本人の意思どおり、在宅生活を継続する。「転倒防止」対策⇒ケアマネがすみやかに手すりやポータブルトイレを設置し、入浴のためのデイサービスを導入する。長男は早急に自宅の整理整頓を行う。「不安軽減」対策⇒ヘルパー責任者は、すみやかにヘルパー交代を検討する。長男は電話の回数を増やし、年に数回は自宅を訪問する。その他⇒後見人は介護保険区分変更申請を行う。本人の状況把握のため、3か月毎にミーティングを実施。		